

砂場の安全清潔保持には『INNERMILL砂場用抗菌剤』が効果的です。



砂場用抗菌剤の組成と作用は？ 白濁色・無臭の抗菌防カビ剤です。

この抗菌剤(商品名インナーミルが基材)は有機ハロゲン窒素化合物を主成分とする有機系の複合成剤です。

細菌や真菌などの細胞膜を構成する酵素の働きを阻害することで微生物の繁殖を抑止します。

(財)食品分析センターで急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性、眼粘膜刺激性などについての安全性が確認されています。

砂場用抗菌剤の特性とは？

砂場用抗菌剤は、細菌 69 菌、真菌 159 菌、藻類 25 菌の計 253 菌に対し強力な抑止力があります。

使用方法

「5リットル入り」ポリ容器

「1リットル入り」ポリ容器



砂場用抗菌剤を約 200～250 倍に希釈し、1m<sup>2</sup> 当り約 15リットル噴霧することにより表面より約 30cm のレベルまで抗菌効果が及びます。通常の環境下であれば大凡 2 年は効果が持続します。

雨が多い地域、動物の侵入が激しい地域は複数回、砂を入替えたりした場合は再度噴霧して下さい。



『インナーミル』砂場用抗菌剤は日本全国の公園、保育園(約 23,000)、幼稚園(約 14,000)の砂場に対して数千箇所に亘る採用実績があります。

約 200 倍に希釈し砂場の上から一定量散布(噴霧)するだけで 2 年以上に亘って雑菌を抑止し続ける事の出来る(データのある)薬剤は『インナーミル砂場用抗菌剤』をおいて他にないといえます。

砂場が高レベルに細菌のみならず真菌(カビ)で汚染されている事実がマスコミなどで話題になってからもう久しく経ちます。

そして砂場の大半が基本的な微生物対策が為されないまま管理されている現状の中で『インナーミル砂場用抗菌剤』を散布した砂場は着実に長期的な成果を上げています。

それらの実績には薬剤の高い『安全性』の裏付けが存在しています。

大腸菌による食中毒のみならずカビによる疾患＝真菌症の問題が次第に着目されつつある現代、そして何よりそれらを着実に抑止する事の出来る薬剤の皆無な中、『インナーミル砂場用抗菌剤』が指名・使用され、ノークレームであることがその証左だと思われます。

## 砂場用抗菌剤と他社薬剤との違いは？

他社銀系、有機系、光触媒などの薬剤の傾向として、『抗菌対象が少ない』、『カビに対してほとんど効力がない』、『多くの量を混入しないと効果が出ない』などの問題点がありますが、砂場用抗菌剤は対象菌種を選ばず、少量で安定して効果を出す優れた薬剤です。